



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆町のお米屋さんのお付き合い、気がつけば50年…◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。

さて、6月下旬、家に帰るとポストに50年来のお付き合いのあるお米屋さんの納品書に、一通のお知らせが同封されていました。

そこにはこう書かれていました。「諸事情により、灯油の販売を終了する事と致しました」と。

まず、我が家の親世帯の給湯器の燃料は灯油です。給湯器の横に大型の灯油タンクが設置しており、お米屋さんが毎月定期的に残量をチェックして給油し、納品書を置いて帰ってくれます。

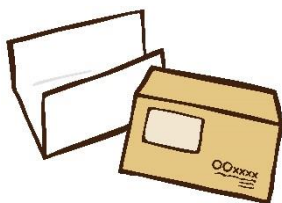
お米屋さんが灯油？？と疑問に思われた方もいらっしゃるかもしれません。50年以上前に遡りますと、まだ世の中にスーパーというものがなく、ようやく個人商店のスーパーができた頃で、基本的には魚は魚屋さん、野菜は八百屋さん、米はお米屋さんから買う時代でした。特に私が今住んでいるのは、そういった商店街との便が悪いところで、俗に言うサザエさんの三河屋のサブちゃん(三郎さん)のような人が、魚屋さんにも八百屋さんにもお米屋さんにもいました。その当時から我が家には、お米屋さんがお米を定期的に配達してくれていました。

そして、なぜかお米屋さんが灯油を給油するというのが、我が家のお付き合いのあるお米屋さんに限らず、行っているところが多かったことを記憶しています。

私が幼稚園生の頃は、先代の親父さんが配達をしてくれていたのですが、私が

小学校高学年の頃から息子さんが跡継ぎとして加わり、当時からサーファーでダイバースウォッチを身に付け、一年中日焼けした格好いい方で、『お米屋さんのお兄さん』と呼んでいました。

そのお米屋さんのお兄さんが、灯油の配達に（2枚目へ→）



(続き→) 毎月10日と26日に来てくれて、残量をチェックし、減っていれば入れていき、必ずピンポンを鳴らし、納品書を母に直接手渡しして世間話をしてと、本当に三河屋のサブちゃんのように関わってくれていました。お米は、私たちが自立してから消費量が減り、以来、灯油の給油だけになりましたが、51年もの間、欠かさず毎月来てくれまして、お米屋さんのお兄さんも70歳になっていました。

昨年コロナからは、納品書は手渡しからポストへと変わってしまいましたが、お付き合いは続いていました。そして、このままずっと続くものと思っていました。

それが、6月下旬の納品書といっしょに、『皆様には永年にわたり大変お世話になりました。さて突然ではございますが、諸事情により灯油の販売を終了する事と致しました。皆様のご愛顧心より感謝申し上げます。花船 山田米店』と書かれたお知らせが入っていたのです。

私は、体調でも悪くされたのかと気になり、すぐに電話をしてお話を伺ったところ、とても生々しい事情がありました。お米屋さんのお兄さんが体調を悪くしたわけではなく、配達に使っていたトラックの調子が悪くなってしまったとのこと。トラックといっても1500cc クラスのもので、ここ数年、高額の修理が続き、今回の修理の見積もりも50万円。さすがに厳しい。新車も検討したけれど、ご自身の年齢や跡継ぎがないことを考えると、新車は必要ないと。中古車ならと探したけれど、納得のいくものに出会えず、家族でも話し合い、ご本人はもう少し頑張ろうと思っていたのですが、やむを得ず、灯油の販売を終了することになったとのことでした。

50年もお付き合いができるというのは、なかなかないことだと思います。家を建



ててから51年もの期間、毎月必ず巡回してくれて、残量チェックをし、納品書を母に手渡しして世間話をしてということを手際よく取り組んでこられた、サーファーのお米屋さんのお兄さんには、本当に感謝の気持ちしかありません。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社
神奈中情報システム



大森



米山